

# 令和4年度 なでしこグループ 放課後児童クラブ 自己評価

学校法人 撫子学童クラブそら・ほし 滝沢中央学童保育クラブ第一  
 社会福祉法人 室小路学童クラブうみ・やま 滝沢中央学童保育クラブ第二

## 1. 「令和4年度の目標（内容）」についての取り組みについて

なでしこグループ 放課後児童クラブ 令和4年度の目標（内容）	反省・意見
<p>感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、消毒、換気、マスク着用など感染症予防の徹底</li> <li>・検温、児童の健康観察を丁寧に行う</li> <li>・環境構成の工夫、記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用、手洗い、消毒の声がけを行っていた。また、児童自身も習慣付いていた。</li> <li>・適切に換気、黙職や座席の記録を行った。</li> <li>・感染症対策を講じながら、児童が安心、安全な環境構成を心掛けた。</li> <li>・感染症の発生状況についての情報を収集し、予防に努めた。また、保護者にも適切に情報発信を行った。</li> <li>・児童の健康観察を丁寧に行い、職員同士で共有することが出来た。</li> </ul>
<p>保育内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも、出来るような行事の工夫や計画、実践</li> <li>・児童の意見や要望を取り入れながらの保育内容の工夫</li> <li>・小学校や地域との交流、連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に留意しながら、季節の行事やイベントを行うことが出来た。</li> <li>・長期休みのレクリエーションでは、行先の環境の下見やきちんと計画を立案し、楽しむことが出来た。</li> <li>・児童の意見を取り入れながら保育の計画を立案し、環境を構成した。</li> <li>・児童の様子について定期的に情報交換をする場を設けるなど、小学校との連携をもっと深めていきたい。</li> <li>・地域との交流は難しかった。</li> </ul>
<p>支援員の体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間のコミュニケーションの充実や、グループの支援員の協力体制の強化</li> <li>・業務内容、業務分担の見直し、効率化を図る。</li> <li>・支援員の全体のスキルアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育前の打ち合わせを行い、全員で情報共有することが出来た。これからも続けていきたい。</li> <li>・職員間でのコミュニケーションや指導が上手い出来ないこともあった。</li> <li>・業務分担の見直し、効率化を図っていきたい。</li> <li>・日によっては打ち合わせや受け入れの準備が不足していた時があった。</li> <li>・次年度はグループの支援員間でのコミュニケ</li> </ul>

		<p>ーションを図り、親交を深めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は外部研修にも参加し、学びを深めていきたい。</li> </ul>
特別な配慮が必要な児童へのかかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通して特別な配慮が必要な児童へのかかわりについての学びの充実</li> <li>・個人の記録や事例をもとに情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で情報共有を行い、関り方を工夫していった。</li> <li>・保護者からも家庭の様子を伺い、児童が戸惑うことがないような関りを行った。</li> <li>・リモートで研修に参加し、関り方を学ぶことが出来て良かった。</li> <li>・研修に参加し、特性を生かした支援を学ぶことが出来た。</li> <li>・児童の良かった点や成長が見られた点なども、共有することが大切である。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに室小路学童クラブの2単位化に伴う安定した運営、体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数に変わりがなかったので、戸惑いはなかった。</li> <li>・準備期間が短く、戸惑うことが多かった。1単位の時と違いがないという認識が問題であった。</li> <li>・職員配置について検討が必要な部分もあった。</li> </ul>

## 1. 放課後児童クラブの取り組みについての評価（自己反省も踏まえて） 回答…16名

- A…十分達成されている
- B…達成されている
- C…取り組まれているが、成果が十分でない
- D…取り組みが不十分である

評価の観点	評価の項目	評価	評価項目の取り組みについての意見
育成支援の基本	放課後児童クラブ運営指針の理解と実践	A 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が安心して過ごせる生活の場を整えた。また、一人ひとりの心身の状態を把握することを意識した。</li> <li>・放課後の身近な大人として児童や保護者との信頼関係を大切にしている。</li> <li>・支援員の立ち振る舞いや言葉使いに気を付けていきたい。</li> <li>・児童の人格を尊重して支援を行っている。</li> <li>・放課後児童支援員の役割を理解し、社会的責任があることを自覚しながら保育を行っていた。</li> </ul>
		B 11名	
	放課後児童支援員の役割、社会的責任の理解と実践	C 0名	
		D 0名	

子どもの発達理解	発達の特徴や発達過程の理解と実践	A 6名 B 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に合わせた支援を意識している。</li> <li>・児童との会話を大切に、丁寧に関わるようにした。</li> <li>・発達の特徴だけではなく、個々の性格や特性を踏まえた上で保育するようにした。</li> <li>・児童一人ひとりの思いや個性を尊重できるように配慮している。</li> <li>・配慮が必要な児童に対しては職員間で連携し、保育している。</li> </ul>
	育成支援についての理解と実践	C 1名 D 0名	
子どもの発達理解	危機管理 保健衛生管理 防災及び防犯対策について	A 8名 B 8名 C 0名 D 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気や消毒等、新型コロナウイルス感染症対策も十分に行った。また、発生状況も情報共有できた。</li> <li>・避難訓練を定期的に行うことで、防犯、防災等に備えることが出来ている。</li> <li>・予告なしの避難訓練も必要である。</li> <li>・保護者や学校と児童の出席確認を行い、安全確認を徹底した。</li> <li>・手作りおやつを提供についても、アレルギーの確認や毎月、検便を実施し、安心して提供することが出来ている。</li> <li>・大きな怪我に繋がらないように、配慮していった。</li> <li>・医薬品の定期的な点検も欠かさずに行っていた。</li> </ul>
	配慮が必要な児童への対応について	A 3名 B 13名 C 0名 D 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子の特性に合わせて関わるようにしていった。</li> <li>・日々支援員間で情報共有を行い、協力しながら関わるようにしていった。</li> <li>・児童との信頼関係を大切に、関わるようにしていった。</li> <li>・小学校などの関係機関とも連携をスムーズに行っている。</li> <li>・保護者からも家庭での様子を伺い、計画を立案している。</li> <li>・良かった点や頑張っている点は積極的に保護者に報告している。</li> <li>・1日の流れを意識できるような関りを意識した。</li> <li>・園外に出掛ける場合などは、職員配置を工夫したりなど、児童が困惑しないように配慮した。</li> <li>・配慮が必要な児童がクールダウン出来るスペースがあれば良いと思う。</li> <li>・苦手なこと、抵抗があることに対して適切な声かけやかかわりが必要である。</li> <li>・個人的に対処が難しい場面があった。</li> </ul>
子どもの発達理解	小学校との連携	A 5名 B 8名 C 2名 D 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の運動会や学習発表会を参観することで、小学校の姿を共有することが出来た。</li> <li>・同一施設の為、こども園の園児と交流する場面が多い。また、卒園児で学童を利用する児童が多いので、連携が取れている。</li> <li>・同グループ園からの卒園児については、密に共有が行える。</li> <li>・同一施設なので長期休みや午前授業の時など、事前の打ち合わせが出来ている。</li> <li>・小学校と学期ごとに面談を行い、連携が図れた。</li> <li>・こども園や保育園、小学校との情報共有ができ、保育にも生かされている。</li> <li>・複数の園から小学校に入学し利用するので、連携が難しいところもある。</li> <li>・小学校の様子と学童での様子が異なる児童がいるので、難しさを感じる。</li> </ul>
	保育園、幼稚園等との連携について	無回答1名	
	地域組織との連携 取り組みについて	A 2名 B 2名 C 6名 D 4名 無回答2名	
	保護者との連携	A 9名 B 4名 C 3名 D 0名	
保護者からの相談への対応について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なこと保護者にきちんと伝え、安心して児童が通えるように努力した。</li> <li>・保護者との信頼関係を大切にしていた。</li> <li>・保護者からの相談については、適切に対応した。また、判断に迷うときは、職員間や上司に相談した。</li> <li>・毎日のミーティングで情報を共有した。</li> </ul>	

運営に関わる組織的基盤	研修への取り組み	A 2名 B 7名 C 3名 D 3名 無回答1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートで1度研修に参加した。保育に行かしていきたい。</li> <li>・外部研修に参加しなかった。開催の機会も少なかった。</li> <li>・次年度は積極的に参加し、資質の向上を目指したい。</li> </ul>
運営に関わる組織的基盤	施設整備・管理 職員処遇 出納管理	A 5名 B 9名 C 1名 D 0名 無回答1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動水栓やオートディスペンサーなど感染症対策の備品も整備され、良かった。</li> <li>・児童が楽しめるような書籍や玩具も購入でき良かった。</li> <li>・整理整頓が不十分な時があった。</li> <li>・支援員が長期的に安心して就業できるよう、労働環境の整備に努めたい。</li> <li>・施設の修繕等は迅速に対応してほしい。</li> <li>・出納管理は、事務職員と連携し、適切に行っている。</li> </ul>

### 3、なでしこグループ 放課後児童クラブ 令和5年度の目標（内容）

#### ※次年度への意見等を参考に立案

支援員の体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員間のコミュニケーションの充実や、グループの支援員の協力体制の強化</li> <li>・支援員同士の意見交換の場、研修、レクリエーションの充実</li> <li>・業務内容、業務分担の見直し、効率化を図る</li> <li>・若手支援員への教育、指導の充実</li> <li>・支援員の全体や個々のスキルアップ</li> </ul>
保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意見や要望を取り入れながらの保育内容の工夫</li> <li>・小学校や地域との交流、連携の強化</li> <li>・グループの学童の児童の交流や繋がりを大切にする。</li> <li>・児童が様々な経験が出来るような保育の計画</li> </ul>
特別な配慮が必要な児童へのかかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通して特別な配慮が必要な児童へのかかわりについての学びの充実</li> <li>・個人の記録や事例をもとに情報共有</li> <li>・外部研修への参加し、学びを深める</li> </ul>